



## ボッシュとダイムラーがサンノゼで自動運転車両の オンデマンドライドシェアサービスの実証実験を開始

2018年11月8日

PI 10797 CC joe/af

- ▶ 市街地とサンノゼ西部の間に位置するサンカルロス/スティーブンスクリークで試験を実施
- ▶ オンデマンドライドシェアサービスアプリを通じて自動運転を体験できる機会を特定のユーザーコミュニティに提供

シュトゥットガルト/サンノゼ – サンフランシスコ湾南岸のシリコンバレーの中心地であるサンノゼは、人口が100万人以上に上る、カリフォルニア州で三番目に大きい都市です。ボッシュとダイムラーは、このサンノゼで2019年下半期から高度・完全自動運転（SAEレベル4/5）のオンデマンドライドシェアサービスの実証実験を開始すると発表しました。同プロジェクトの実行と最終決定のための覚書への調印は、すでに完了しています。ボッシュとダイムラーは、メルセデス・ベンツSクラスの自動運転車両を使用して、市街地とサンノゼ西部の間に位置するサンカルロス/スティーブンスクリークの、特定のユーザーコミュニティにサービスを提供する計画です。今後20年間で人口が40%増加すると予想される大都市圏は、次第に大きくなるモビリティ問題に直面しています。そこでサンノゼは、自動運転車両が道路を行き交う未来に向けて準備を整えたいと考えています。

サンノゼのSam Liccardo市長は、「このパイロットプロジェクトは、自動運転車両がどうすれば未来の交通ニーズをうまく満たすことができるかを模索する良い機会となるでしょう」と述べています。ダイムラーAGでドライブテクノロジー・自動運転部門のヴァイスプレジデントであるDr. Michael Hafnerは、「私たちは長年にわたり、自動運転の開発を推進し続けています。私たちはこのパイロットプロジェクトを通じて、未来のモビリティサービスのユーザーへ完全自動運転車両を最善の方法で提供するための貴重な知見を得ることになります」と述べています。ロバート・ボッシュ GmbHの自動運転事業部門シニアヴァイスプレジデントのDr. Stephan Hönleもまた、こう述べています。「私たちは都市交通を見直していかなくはなりません。そして自動運転は、未来の都市交通のイメージを完成させる力となります」

ダイムラーのモビリティサービスが運用するオンデマンドライドシェアサービスアプリは、カーシェアリング(car2go)、ライドシェア(mytaxi)、マルチモーダルプラットフォーム(moovel)などのモビリティサービスを、どのようにインテリジェントに結びつけることができるかを示す役割を担うことになっています。この試験運用により、高度な完全自動運転車両をマルチモーダル輸送ネットワークに統合するための情報もたらされる見込みです。その目的は、特定のユーザーコミュニティが所定の乗車場所からセーフティドライバーによって管理された自動運転車両に乗車し、目的地まで自動運転で移動するというシームレスなデジタルエクスペリエンスを提供することにあります。

### **自動運転車両により都市交通がより魅力的に**

ポッシュとダイムラーは、都市環境での高度・完全自動運転の開発協力(SAEレベル4/5)を通じて、市街地での交通の流れを改善し、路上での安全性を高め、未来の交通の仕組みにとって重要な要素を提供することを目指しています。この技術が実現すれば、カーシェアリングの魅力がさらに高まるだけでなく、走行安定性を保ちながら車内での時間をさらに有効に活用したり、運転免許証を持っていない人にも新たなモビリティの機会を提供したりできるようになります。

### **ポッシュとダイムラーの従業員が同じオフィス空間を共有**

開発プロジェクトに関わるポッシュとダイムラーの従業員は、ドイツの大シュトゥットガルト市域と、米国のサンノゼとサンフランシスコの間にあるシリコンバレーのサニーベール近郊という2つの地域でチームを組んで一緒に働いています。両社の従業員は同じオフィス空間を共有することで、両社の垣根を越えた素早い意思疎通と短い意思決定経路を実現できるようになったと同時に、親会社である両社のノウハウを利用することができるようになりました。

この提携に携わる両社の従業員は現在、高度・完全自動運転システムのコンセプトとアルゴリズムの共同開発を進めています。ダイムラーの役割は、運転システムを車両に組み込むことです。そのために同社は、必要な開発車両、試験場とテストフリート用車両を提供しています。ポッシュは、開発作業に必要なコンポーネント(センサー、アクチュエーター、コントロールユニットなど)を担当しています。両社はテストのために、自社の研究施設とテスト装置に加えて、ドイツにある各社のテスト施設を活用しています。また、メルセデス・ベンツは2014年にカリフォルニア州自動車局から自動運転車両試験実施の許可を受け、サニーベール(カリフォルニア地域)で自動運転車両のテストを進めているほか、大シュトゥットガルト市域でも2016年から同様の許可を得ています。またポッシュは、2013年初めにドイツと米国の公道において自動運転(SAEレベル3)の走行試験を行なった世界初の自動車機器のサプライヤーです。

**報道用画像:** #1703393, #1703394

## CES 2019 におけるボッシュのイベント:

- ボッシュ役員の見聞会: Ballrooms B, C & D, Mandalay Bay Hotel, ラスベガス South Convention Center, Level 2: 2019 年 1 月 7 日(月) 9:00~9:45(現地時間)
- ブース: 2019 年 1 月 8 日(火)~11 日(金)、Central Hall、ブース #14020
- CES 2019 におけるボッシュのハイライトをツイッターで紹介: #BoschCES

## 報道関係対応窓口:

Jörn Ebberg

電話: +49 711 811-26223

Twitter: @joernebberg

## 世界のボッシュ・グループ概要

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2017 年の売上高は 474 億ユーロで、総売上高の 61% を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズは、自動化、電動化、ネットワーク化の 3 つの領域においてグループの専門知識を統合させ、お客様にトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー/パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム/自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントや Vehicle-to-Vehicle (車車間) および Vehicle-to-Infrastructure (路車間) 通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト/テクノロジー/サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置 ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2017 年の従業員数は約 40 万 2000 人 (2017 年 12 月 31 日現在)、決算報告での売上高は 781 億ユーロ (約 9.9 兆円\*) を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 125 の拠点で約 6 万 4,500 人の従業員が研究開発に携わっています。

\*2017 年の為替平均レート: 1 ユーロ = 126.711118 円

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)